

佐渡の貴重な植物群落 12

小佐渡竜王堂のスタジイ林

伊藤 邦男

1、北限のスタジイ林

スタジイ *Castanopsis cuspidata* var. *sieboldii* (ブナ科) は関東以南の暖帯域を主な分布域とする暖帯林の主要樹のひとつである。越後では県南部 (刈羽郡西山町石地の御島石部神社など) に分布し、その自然林は少ない。佐渡では、冬の季節風をさけた段丘上に広く普通に分布している。小佐渡の北東端の姫崎がスタジイの北限 (北緯 $38^{\circ} 5'$) とされているが、燈台のある姫崎から竜王崎を経て水津に至る海岸段丘の前縁や斜面のスタジイ林は、日本の北限のスタジイ林として貴重である (図1)。これらのスタジイ林の中で最もよくまとまっているのは、地元で「竜王さんの山」と呼ぶ林である。海上安全の守護神、竜王を祀る竜王堂をとりまく堂林は、東西 100m、南北 6m の小さな林であるが、樹高 16m、胸高直径 40-50cm のシイの大木が 20 数本林立している。この大木は堂のまわりに多く、その他は幹径 15-35cm となる。伐採のあとの二次林で、遷移の途中相であるが、スタジイが優占し、亜高木~低木層はヤブツバキ、草本層はヤブコウジが優占する。

信仰の堂を囲むまとまったスタジイの林として、また分布の北限として貴重である (図2)。



図1 北限のシイ林域 (姫崎-竜王崎-水津)

2、植生組成

竜王堂のスタジイ林

環境	竜王堂の堂林	海岸段丘	海拔 35m	方位・傾斜なし	調査面積	6 × 20m ²
階層	優占種	高さ	植被率	幹径	種数	
高木層 (B1)	スタジイ	16m	95%	17-35cm	4	
亜高木層 (B2)	ヤブツバキ	5m	40%	5cm	2	
低木層 (S)	ヤブツバキ	1.5m	20%	/	8	
草本層 (K)	ヤブコウジ	0.1m	20%	/	9	

組成 B1	スタジイ 5・5	カスミザクラ 1・2	ホオノキ 1・1	コナラ 1・1
B2	ヤブツバキ 3・2	カスミザクラ 1・2		
S	ヤブツバキ 1・2	スタジイ + 2	シロダモ +	ヒサカキ + ヒメアオキ + カヤ + ヤマウルシ + フジ +
K	ヤブコウジ 2・2	シロダモ +	スタジイ +	ヒメアオキ + ムラサキシキブ + ヒサカキ + サルトリイバラ + イチヤクソウ + ナガバジャノヒゲ +

< 1986-9-24 調査 >

3、保護

「竜王堂のスタジイ林」は小佐渡県立自然公園地域にある。また「姫崎竜王山のスタジイ林」(名称)として「県の特定植物群落」に指定 (1986) され、また「小佐渡北端のスタジイ林」(名称)として新潟県のすぐれた自然 (すぐれた植物群落) として県指定 (1993) されている。

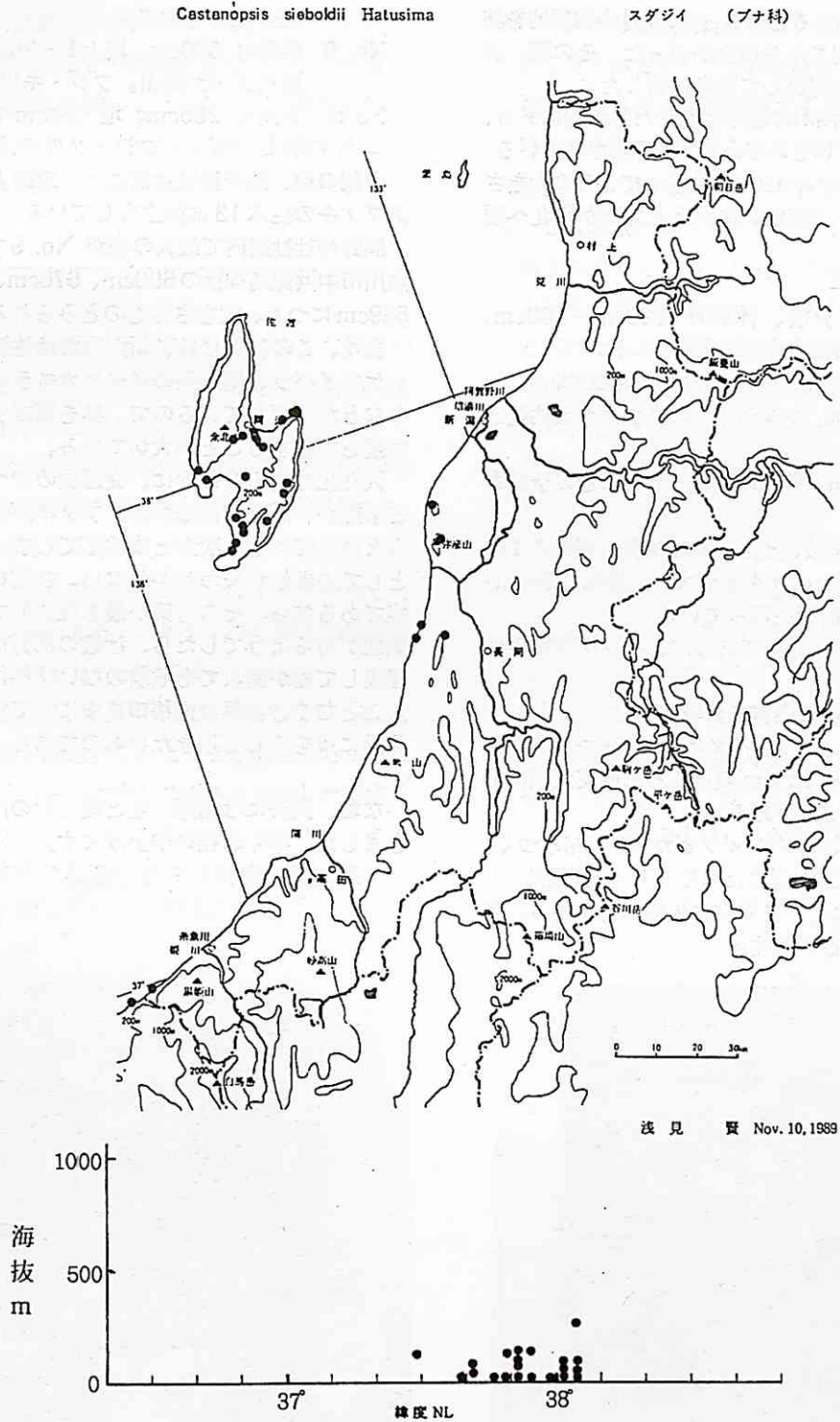
竜王堂のスタジイ林は信仰によって保護されてきた林であるが、この堂林に限らず広く、姫崎-竜王崎-水津 (両津市) の海岸段丘に分布するスタジイ林は、日本の北限の林として人為を加えることなく、自然の姿で後世に伝えなければならない。



写真 竜王堂のシイ林 (日本の北限) より竜王岩を望む

文 献

- 伊藤 邦男 (1986)、姫崎竜王山のスタジイ林
 第3回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書 (新潟県) 環境庁
 伊藤 邦男 (1993)、小佐渡北端のスタジイ林
 続・新潟県のすぐれた自然 新潟県自然環境保全資料策定調査書 (新潟県)
 いとうくにお・新潟県自然環境保全審議会専門調査員
 現住所 〒952-12 新潟県佐渡郡金井町千種 106-3



スタジイの垂直分布図

図2 新潟県のスタジイ林の水平・垂直分布「新潟県植物分布図集 10集」(1989)